リアルワインガイド　63 号

旨安大賞ワインは今も旨安大賞ワインだった！

Gladium Tempranillo Joven/Compos Reales

グラディウム・テンプラニーリョ・ホーベン '17

V2682　／カンポス・レアレス〈スペイン〉

730 円前後　インポーターより購入　輸入元／飯田

今飲んで 88　ポテンシャル 88+　飲み頃予想 今 ~2033

ここに載っている前回の 23 号のみならず、企画特集をした 28 号では 08 年ものが今回同様 88 ／ 88+ となり、その号の表紙も飾った旨安中の旨安ワイン。今回久しぶりに飲んだけど、呆れかえるほどに秀逸だった。やっぱり。そして価格もずーっと同じ。イキイキとしたベリー風味で、液体は以前と同じくジューシーさとみずみずしさがたっぷり。カジュアルラインとして十分以上に満足のいく満質と味わいは、旨安ワインの超定番として君臨し続けているのであった。普通　徳丸真人（18 年 8 月試飲）

▼前回の試飲結果（23 号）

グラディウム・テンプラニーリョ '07
714 円　酒源酒店　輸入元／飯田
今飲んで 87　ポテンシャル 88

Monasterio de Santa Cruz/Artiga Fustel

モナステリオ・デ・サンタ・クルス '15

V2828　／アルティガ・フュステル〈スペイン〉

1,020 円前後　インポーターより購入　輸入元／飯田

今飲んで 88+　ポテンシャル 89　飲み頃予想 今 ~2035

もう、価格もスタイルも味わいも得点も前回掲載分と同じ。見事なまでに同じ。なので前回、斉藤が書いたレヴュー文を載せます！「これは、うみゃい！ 大地とヨードとシイタケの芳香。ちょうど良い濃さの液体はジューシーで、ひたすらナチュラル。心地良い甘みと酸味が口の中をイキイキ飛び回り、飲んでいても全く疲れを感じない。徐々に顔を出すタンニンが今は暴れ気味だけど、これはいずれ落ち着くもの。この価格でこの品質とは、スペイン恐るべし。－以下省略。いや、手抜きじゃないって。普通　徳丸真人（18 年 08 月試飲）

▼前回の試飲結果（48 号）

モナステリオ・デ・サンタ・クルス '12
1,080 円　河野酒店　輸入元／飯田
今飲んで 88+　ポテンシャル 89

Gladium Tempranillo Crianza/Compos Reales

グラディウム・テンプラニーリョ・クリアンサ '13

V2690　／カンポス・レアレス〈スペイン〉

1,300 円前後　インポーターより購入　輸入元／飯田

今飲んで 88+　ポテンシャル 89　飲み頃予想 今 ~2033

「永遠の旨安ワイン」と勝手に呼んでいるグラディウム・テンプラニーリョの上級キュヴェ。ところがこのボトル、試飲時は酢酸系の風味やセメダイン香が漂う、ちょっと不思議ちゃん。ほんのりと香れた果実味やうま味を感じるものの、どうもその妙な風味が気になる。う～ん、どうしちゃったんだろう。ところが翌日飲んでみると、その妙な風味がすっかり消えて、実に美味しくなっていたのです。なぜ？ 狐につままれたような気分ながらも、美味しいなぁと呟きました。普通　斉藤真理（18 年 08 月試飲）

▼前回の試飲結果（35 号）

グラディウム・テンプラニーリョ・クリアンサ '08
1,050 円　稲富かのや酒店　輸入元／飯田
今飲んで 88+　ポテンシャル 89+

Cimerio Concro Riserva/Moncaro

ロッソ・コーネロ・リゼルヴァ“チメリオ”'14

V599　／モンカロ〈イタリア／マルケ〉

1,700 円前後　インポーターより購入　輸入元／飯田

今飲んで 89+　ポテンシャル 90+　飲み頃予想 今 ~2040

前回試飲した 2008 年ものもお見事だったけれど、さらに品質がジャンプアップしたこのワイン。いやぁ、ビックリしました。モンカロはマルケ州にある協同組合で設立は 1964 年。1980 年からは徐々に有機栽培にも携わるなど、「もしかしてエステザルグを狙っている？」と勝手に思い込み。さて、このワインは濃いめでパワフルだけど、各要素がしっとりと馴染んでいるので、重さや暑苦しさが皆無。程よく熟れた果実味としっかりめの酸のバランスが絶妙で、スタイルの良さが光るのです。濃いめ　斉藤真理（18 年 08 月試飲）

▼前回の試飲結果（35 号）

ロッソ・コーネロ・リゼルヴァ“チメリオ”'08
1,400 円　銀口限定（ヒダチワイン Higuchi Wine）　輸入元／飯田
今飲んで 88　ポテンシャル 89